

262 号

3 月例会のお知らせ

日 時 : 3 月 27 日 (日) 12:00~ (15 分前にご集合を)
場 所 : 府中町屋倶楽部
内 容 : 茶会 (正午の茶事)

懐石膳の代わりにお弁当を食べていただき、濃茶、薄茶とすすむ正午の茶事風なおもてなしをしようと思っておりますので、気楽にご参加下さい。会費は 2,000 円です。

*年会費をお納め下さい。2,000 円 / 年

(通信をうけとるのみの方は 1,000 円 / 年)

郵便振替 番号 00790-3-8194 名義 武生ルネサンス

■3 月 5 日に、地中の虫が動き出し、戸を開いて外に出るといふ二十四節気の「啓蟄」を迎えました。虫の動きはこのころ始まり、収まるのが立秋の頃と言われています。七十二候で言うと、「桃はじめて笑う」頃です。これから 3 月 20 日の彼岸まで、まだ気温の低い日もあるものの、一日一日「山笑う」季節に近づいています。

■今年も炉の季節の間にお茶事を楽しみたいと思ひ、茶会を計画しました。

「正午の茶事」の流れにつきましては、昨年武生ルネサンス通信 (5 月号 253 号、) に詳しく書きましたので、もう一度読んでいただきますと助かります。

■4 月の例会は、茶会のすぐ後の 4 月 3 日 (日) に、林病院農園で 11 時半ごろから恒例の花見を行います。こちらもお弁当の事がありますので、茶会のお申し込みをしていただく際一緒に御返事ください。茶会には出られないけど花見には出席という方は 3 月 29 日までにお知らせください。

■予定の変更

*5 月のおさごえ民家園城地家茅葺修復記念見学会は、案内していただく講師のご都合により 5 月 22 日 (日) に変更します。

*8 月の勝山の小原集落見学はやはり学生が作業をしている日の方がいいので、8 月 27 日 (土) に変更します。

■平成 29 年の『絵暦』は「越前の里の虫たち篇」というテーマで編集に取り掛かっています。30 年以上も村国山周辺の昆虫を調査、撮影しておられる津郷勇氏 (福井高専名誉教授) の協力を得て、武生ルネサンスらしい絵暦を作れるのではないかと考えています。子供の頃村国山の夫婦池あたりでよく見かけた、美しい「ハンミョウ」も絵暦に取り上げたいと思って依頼しましたところ、道が舗装されたため営巣地がなくなっているようだとのこと。こんなふうには、小さな命が環境の変化によっていつの間にか絶滅危惧種になってしまっていることなども示すことが出来ればと思います。

■先月の例会は、福井商工会議所で上映された「鳥の道を越えて」の記録映画鑑賞に 15 名ほどの会員が参加しました。昭和 22 年に GHQ によって禁じられ、現在も法令で違法とされているカスミ網が福井県でその後もずっと続いていた「密猟」について、日本野鳥の会の会報『野鳥』に林武雄氏 (昭和 38 年から、27 年間福井県職員として鳥獣保護行政に就き、密猟根絶に努力なされた人) がシリーズで書いておられます。(今年の 2.3 月号で 17 回)